



原 田 正 樹

おたるないバックパッカーズ ホステル杜の樹
〈民泊〉



階段を上るとファンタジー



あずましい交流スペース

仕事柄旅人によく訊かれる。
「小樽はどういう町なの？」と。
よく私がいうのは、
「世界中で夏は海で泳げ、冬はスキーができる。それもちゃんと海水浴場がありスキー場がある。そんな町は他にあるでしょうか？そして、ただか200年ほどですが、北海道開拓の歴史があり、近代建築の建物が今も残っている。温泉もあるし、寺社仏閣も祭りも多い。海産物も豊富で、野菜や果物もあり、日本酒、ワイン、ビールも作られている。隣町ではウイスキーもね。いってしまえば、なんでもある幕の内弁当のような町です。」と。
「でも、売れ筋の唐揚げ弁当やトンカツ弁当には敵わないけどね」

建物履歴

昭和10年頃 創建
平成11年 おたるないバックパッカーズ
ホステル杜の樹 開設

〒047-0028 小樽市相生町4番15号
☎ 0134-23-2175
E-mail: morinoki@gmail.com



佐 藤 美智夫

旧青山別邸貴賓館
〈ミュージアム・レストラン・ホール〉



貴賓館全体図



外観



八仙人の間

小樽貴賓館旧青山別邸は創建93年を迎えた、にしん御殿(お客様をもてなす為に建てられた大網元の別荘)です。

現在は別邸の開放と共に併設の建物内のレストランで会食、宴会、法事、イベントを行っています。庭園には牡丹、芍薬、あじさい、百合等、季節ごとに色とりどりの花が咲き誇り、多くのお客様に喜ばれています。

「つらいこと」は心ないお客様に小石を投げられ、窓ガラスを割られたり、風雪で瓦や壁が劣化していくことです。ガラスを割られると、現代のガラスを使用し修復するとそこから近代化していくので、大正時代の手作りガラスを探してきて取り替えます。また、壁や屋根は大正時代に使われていた木材や当時の技術、手法で直す等、古いままで保存しよう努めているので材料、技術者を探すのが大変でつらい事です。

「うれしいこと」は、お客様にその様な保存方法を認めてもらい、喜んで感動して頂ける事です。

これからも当時の技術を駆使しながら、国登録有形文化財を末長く維持、保存していきたいと思っております。

建物履歴

大正12年 青山政吉は6年半の歳月をかけ、別邸を建設
昭和63年 佐藤美智夫・佐藤裕子所有
原形の技術や素材を踏襲し復元
平成元年 「旧青山別邸」開設
平成16年 5階建レストラン新築完成
昭和60年 小樽市歴史的建造物指定
平成22年 有形文化財として国に登録される

〒047-0047 小樽市祝津3番63号
☎ 0134-24-0024 FAX 0134-24-3790
http://www.otaru-kihinkan.jp/
E-mail: info@otaru-kihinkan.jp